



ふらのの大地

1
2025 (令和7) 年
No. 287

-農協からの手紙-



謹賀新年



令和7年

新たな年を迎えて

代表理事組合長

植 崎 博 行



新年明けましておめでとう
ございます。組合員の皆さま

におかれましてはご健勝で新
春をお迎えのこととお喜び申
上げます。

さて昨年は大きな自然災害
も無く、豊穰の出来秋を迎え
られたことと思います。また
昨年は農業の憲法である「食料・
農業・農村基本法」が25年ぶ
りに改正され、今年はこの基
本法に基づく地域計画が策定

され、将来の地域農業の在り
方に大きく関わってくる大事
な年になります。また昨年は
衆議院議員選挙が行われ自民
党が大敗、今後の農政の行方
に不安を抱かせる年となりま
した。

一方世界に目を向けますと、
ロシアとウクライナの戦争が
いまだ収束せず、中東での紛
争も予断を許さず、それらの
紛争が資材や燃油の価格に大
きな影響を及ぼし、農業経営
にも影を落とし続けています。
そして今年にはアメリカ合衆国
の大統領にトランプ氏が返り
咲き、今後の世界情勢にどの

ような影響が出るのか危惧さ
れます。

このような情勢下において
今後の農協経営をどのように
行っていくのか、昨年1年を
かけて第8次中期経営計画を
策定しました。その内容は近
年の農協離れ、人手不足、デ
ジタル化の遅れに対処するも
のとなっております、組合

員の皆様にはご不便をおかけ
することもあろうかと思いま
すが、ご理解ご協力を賜りま
すよう宜しくお願い申し上げ
ます。
今年には蛇年です。蛇は脱皮
を繰り返す環境に対応して生

きる生物と言われております。
農協も環境変化に対応して事
業を行い、組合員の期待に応
えていかなければなりません。
結びに当たり今年が皆様にと
って健康で、そして豊穰の
出来秋を迎えられることをご
祈念申し上げます。ご挨拶と
致します。





謹んで新年のご挨拶を申し上げます

代表理事組合長

植崎博行

理

事

前多正幸

代表理事専務

加茂博昭

理

事

井上聡

常務理事

菊地邦之

理

事

宍戸昭則

常務理事

菅原義人

理

事

増田義樹

常務理事

大矢根史典

理

事

西脇和幸

北エリア運営委員長

西木晴彦

理

事

桑折裕美子

北エリア運営委員長

松田浩明

理

事

野尻悦子

南エリア運営委員長

及川智

代表

監事

工藤一浩

南エリア運営副委員長

小師和彦

常勤

監事兼員外監事

荒川聡

理事

對馬徹

監

事

藤崎祐一

理事

中田隆宏

監

事

菅原久

理事

高崎見一

監

事

萩原秀行

理事

細川雅宏

監

事

萩原秀行

理事

磯江幸喜

監

事

萩原秀行



ふらのの大地 1 目次

- 令和7年 新たな年を迎えて 2
- 表紙のことば 3
- 特集
 - 販売部より 4
- Welcome to Furano! 6
- トピックス 7
- おしらせ 15
- 緑峰高校より教育活動紹介 18
- 連載コラム 第3章
 - 小麦～聖書の時代からの最古の穀物～ 19
- 理事会報告 19
- 健康メモ 20
- 農家ならではの工夫料理 逸品レシピ紹介 22



表紙のことば



幕田 真理子「夕日に照らされて」

受賞コメント抜粋

この作品は【愛】をテーマに撮影させていただきました。我が家の農場のまっくふあーむで主人が大切に育てている玉ねぎと、大切な愛息子、東山の美しい風景をかけ合わせることでこの写真が生まれました。この東山地区では、温かみのある方々が美味しいお野菜を作り、美しい風景をおりなしています。是非一度東山に足を運んでみてもらえたらと思います。



青果第2課の取扱品目はたくさんの野菜・果実の取扱いがあります。その中でも西瓜が遂に玉ねぎに次ぐ販売額を達成致しました。夏場の猛暑により販売環境が良かった事と、生産者の妥協のない肥培管理の賜物の結果であります。

今回は早い時期から『ふらの西瓜』を計画的に販売していただいている、数ある取引先の中からJA全農青果センター(株)東京センター様より、ふらの西瓜の流通情勢や消費動向について教えて頂きましたのでご紹介致します。

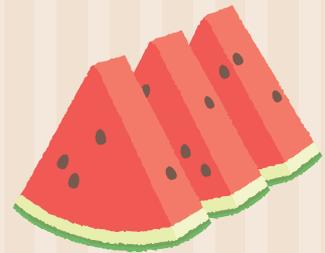
1. JAふらの西瓜の取組について

(1) 今年度の取扱いについて

JA全農青果センター(株)東京センターの2024年度産JAふらの西瓜(大玉・小玉)取扱実績は364.7tと多大なるご出荷をして頂きました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。JAふらのには当社において、夏秋時期(7月~9月)に無くてはならない大切な産地であり、生協・量販店を通して、関東一円の消費者に美味しいふらの西瓜を日々、お届けしています。

(2) 昨今の主な販売流通について

ここ近年の猛暑の影響で西瓜の引合いは年々強くなり売場展開も秋口まで継続される傾向にあります。長年ふらの西瓜をご愛顧頂いております重点取引先の生協(コープデリ・生活クラブ)と量販店(サミット・ライフ・ヤオコー他)を主軸とした販売を行っております。大玉西瓜の商品展開は「ブロック販売(大・中・小パック)」「カット販売(1/6



又は1/8)」「玉売り販売(こうした流通・販売の構成単位をSKUと言いますが、年々「ブロック販売」の構成比が高まっており、現在では売場の約60~70%の構成比まで伸長しています。「包丁でのカットや皮を捨てる手間が省ける簡便性」と「世帯人数の減少による食ベきりサイズの内容量」が人気を集めており、ここ10年で販売金額は約2倍まで増加。従来カットフルーツ市場は輸入が大半を占めパイナップルが主力であったが、近年では国産主体の西瓜が牽引する形に変わってきています。小玉西瓜の商品展開は「玉売り」が主ではありますが、「カット販売(1/2又は1/4)」の構成比が年々高まりつつあります。また、小玉西瓜は、食味はもちろんです。冷蔵庫に入るサイズ」「少人数で食べきれるサイズ」という観点から、生協宅配におけるニーズが依然高い状況にあります。





(3) 重点取引先(生協・量販店)との取組販売について

重点取引先である生協(コープデリ・生活クラブ)、量販店(サミット・ライフ・ヤオコー他)とは、シーズンが始まる前に、販売数量・商品SKU・試食宣伝・直送などの計画について商談で協議を行います。シーズン中は週1回の商談の中で、産地の作柄動向・出荷状況と末端消費動向の情報共有を図り、時には軌道修正もかけながら最後まで有利販売に繋がられる様に販売の組立を行っています。取組としては、先述した重点取引先5社においては「ふらの西瓜」を前面に押し出し、「良食味・高品質」を謳うことで付加価値商材としての販売を行っています。また、ライフなど一部取引先へは直送を行うことでより計画的な販売に繋がりが、お客様からは「鮮度の良いおいしい西瓜」との高評価を得る事ができます。

2. 産地にこれから期待する事

(1) 需要期の出荷拡大と良食味・好品質の維持

ここ近年の猛暑の影響で西瓜の引合いは秋口まで堅調ではありますが、最需要期はやはり旧盆時期です。旧盆前の7月下旬から8月上旬に「ふらの西瓜」の売場を拡大できれば、旧盆以降も広い売場を維持することができ安定販売に繋がりますので、生産面では厳しいとは思いますが出来る限りのご対応をお願いできればと思います。また、ふらの西瓜の評価が年々高まっているのは、やはり「良食味・高品質」であるからです。「良食味・高品質」は信頼に繋がりが、ブランド力向上にも寄与するので、引き続き「美味しくて品質の良いふらの西瓜」の生産をお願い致します。



(2) 生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になるためのお願い

当社の役割は、産地情報を元に取引先とシーズン前に商談を行い事前に御地の売場を確保する事で有利販売に繋げる事だと考えています。ここ近年は天候不順のため作柄動向が読みづらいつとは思いますが、同じ目線を持って商談に望めるように、今後とも情報の提供をお願いできればと思います。また、次年度以降もふらの西瓜(大玉・小玉ともに)の有利販売に繋がる様に全力で取り組んで参る所存ですので、多大なるご出荷の程何卒よろしくお願い申し上げます。

Welcome to Furano!

玉ねぎ・にんじん・メロンにスイカ、当ふらの地域には多様な農産物が溢れていますが、管内の農業を支え、畑から消費者まで届けるためには多くのマンパワーを必要としています。

このため、JAでは『特定技能制度』を活用してインドネシアから多くの人材を登用し、ともに“ふらの農業を支える



メンバー”として活躍してもらっています。

本誌では、赤道直下の南国から、北の大地のど真ん中・富良野までやってきて、気候・文化・宗教などの違いをものともせず八面六臂の活躍をする皆さん方を紹介していきます!今回はプジさんとリナさんです。



Welcome to Furano! ふらので働く外国人紹介



#5

プジ セティアニングラム
PUJI SETIYANINGRUMさん
33歳

愛称: プジ



出身: 中部ジャワ ソロ(スラカルタ)



ふらの滞在歴: 1年8ヶ月



好きな日本食: 焼肉



日本について: 日本のアニメが好き!



好きな言葉: やって見ないとわからない



#6

リナ マスリハ
LINA MASLIHAさん
28歳

愛称: リナ



出身: 東ジャワ バニユワンギ



ふらの滞在歴: 2年4ヶ月



好きな日本食: 焼肉



楽しかったこと:



小樽旅行 おたる水族館を満喫しました



来日について:



夫婦ともに富良野で働いています!



好きな言葉: 諦めないでください



※音データはmp3形式です。

それぞれ、好きな言葉をインドネシア語で紹介しています。興味のある方は覚えてみてはいかがでしょうか!

青年部富良野支部 道外視察研修

11月18日から21日まで、青年部富良野支部では例年開催している道外視察研修を開催、17名の部員が参加しました。

18日に名古屋に入り、1か所目の視察先「JAアグリタウンげんきの郷」を視察。

ここは複合施設になっており、食事をする場所もあり、平日にもかかわらず、多くのお客さんと賑わっていました。売り場には農産物の他にもお肉や海産物、花、加工品などを取りそろえ、地産地消を図っていました。

19日、2か所目の視察先となる、「セントライ青果株式会社」を視察。

各作物の担当者にご出席頂き、概要説明を受けた後、部員からも積極的に質問もしていました。その後、市場内を見学させて頂き、市場内では、各ドラッグストアなどに卸す袋詰め作業なども行われていました。

20日、この研修で3か所目となる「近江度量衡株式会社」を視察。ここでは、玉ねぎ、ミカン、大玉トマトなどの選別機を見学させて頂きました。実際に動かして頂きながら、担当者から機械の長所などをご説明頂き、部員たちも丁寧に聞き入っていました。最終日には、「JA全農青果セン



「近江度量衡株式会社」



ター株式会社大阪センター」を視察研修させて頂きました。ここでも、ふらの産農産物の販売状況などの説明を受けました。その後、市場内も見せていただき、QRコードを使用

しての効率的な倉庫管理などを説明して頂きました。



「JA全農青果センター株式会社大阪センター」

今回の視察では4か所の視察先にお邪魔をさせて頂きました。それぞれお忙しい処ではあったとは思いますが、ご丁寧に対応頂きました。参加した部員もそれぞれ良い経験をした事と思います。



「JAアグリタウン げんきの郷」



「セントライ青果株式会社」



青年部中富良野支部 「北エリア幹部職員との懇談会」を開催

11月8日、午後3時より、数年に一度の割合で職員との交流を深めるため「勉強会」を開催、今回はJAふらのの北エリア幹部職員との懇談会を企画いたしました。

青年部役員の呼びかけに各幹部職員が自部署の仕事の内容をはじめ、青年部員にとって「チョットいい話や知って得する事、これからはこうなりますよ」など営農にとって大変興味深い情報について講演し、皆真剣に聞き入っていました。

職員からは5分と短い説明ではありませんでしたが、聞き足りないことや、もっと話したいこと等は、懇談会終了後の懇親会にて、情報交換をしていました。



懇談会の様子



講演する幹部職員



懇親会の様子



青年部富良野支部・南支部冬期合同研修会 第73回JA青年部全道大会に参加

12月5日、6日に札幌パークホテルにおいて第73回全道JA青年部大会が開催され、青年部富良野支部・南支部は冬期合同研修会として参加してきました。

5日には、各地域の青年部による青年の主張発表や、活動実績発表大会が行われました。

その後の全体懇親会に参加後、青年部富良野支部・南支部でも懇親会を用意し、本部役員にも参加していただき大いに交流を深める事が出来ました。



青年部から



青年部富良野支部
オムカレー作り開催



11月15日、扇山小学校にて、子供農作業体験で収穫した玉葱・馬鈴薯を使用して、扇山小3年生がオムカレー作りを行いました。
緑峰高校のカレンジャー娘、チームオムからオムカレーの調理順番などの説明を受け、子供たちもしっかりと覚えようと必死に聞き入っていました。
3年生はカレンジャー娘やチームオム、青年部富良野支部役員のお手伝いを受けながら、一つ一つの調理をこなしていました。
実食した子供たちは口々に美味しさと大満足の様子でした。

女性部から



JA上川地区女性部研修大会

12月4日旭川トーヨーホテルにて「令和6年度JA上川地区女性部研修大会」が開催され、当JAから女性部10名事務局1名が参加しました。
大会テーマ「素（酢）敵に健康く美しく楽しく農作業ライフ」を掲げた今回の研修では、エコープマークのお酢を製造している大興産業株式会社（岡山県）を招き、『ほめられ酢』という商品をご紹介いただきました。『ほめられ酢』は大興産業株式会社×JA全農×JA女性部フレミズとの共同開発商品で、開発当初「酸っぱくないお酢を作りたい！」というフレミズの意見に衝撃を受けたそうです。これはお酢が苦手な家族、子供も食べやすく、家族みんなが食しやすいお酢がほしいとの思いがあったとのこと。そこから出来上がった『ほめられ酢』は、一口サイズの野菜を一晚漬けると酸味のまるやかな美味しいピクルスがで上がり、試食では「一晚で簡単かつ、こんな美味しくできるんですね！」と大好評でした。

午後は「農作業着ファッションショー」を行い、サロペットやヤッケなどを着用し、ポップな音楽にあわせてモデルさんながらポーズやキメ顔を披露しました。会場の皆さんも声援を送り会場一体でショーを盛り上げました。作業着が心地よいと気分が上がり、大変な農作業もはかどりそうです。集まった各地区役員とも交流を深め笑顔あふれる研修大会となりました。



中川会長による開会挨拶



大興産業(株) 水田課長



農作業ファッションショー モデルのみなさん
【商品協力】
新和、び・ふらねっと、モンベル、コロンビア

女性部から



JAふらの女性部
12月全体事業 開催

12月6日富良野市役所において、女性部12月全体事業を開催し女性部員32名が参加しました。

松藤女性部長からの開会挨拶のあと6つのグループに分かれ、JA事業および女性部事業についての部員懇談を行いました。部員からは「米の値段が高いことは嬉しいことだが、米離れが進まないか心配だ」「温暖化などで、今ままであまり見なかった病気や害虫がでてくるので、早めに情報発信して欲しい」など率直な意見や要望があげられました。今回集約した意見要望は、おつて女性部員へ回答されます。

午後からはフィットネスインストラクター阿部佳奈子氏をお招きし「ZUMBA体操」を行いました。ZUMBA体操はラテン音楽を中心に、音楽に合わせて行うフィットネスです。はじめにタオルを使ったストレッチで体を温め、頭の体操になるゲームを行ったのち、JPOPなどに合わせて、いざZUMBA体操です。はじめは「できるかな」と

心配していた部員もいましたが、講師の軽妙なトークもあり会場は大盛り上がり。みなさん頭も心も身体もすっきりしました。

閉会後は夏期研修で視察に伺った第一ゴム(株)の展示即売会を行い、多くの方が滑らない冬靴を購入され、全体事業は大盛況で幕を閉じました。



開催の挨拶 松藤女性部長



地域牛乳・乳製品消費拡大事業



部員懇談会



タオルを使ったストレッチ



インストラクター阿部氏と集合写真

女性部から



JAふらの女性部冬期研修 開催

11月25日～26日女性部冬期研修を開催し、総勢56名（部員54名、事務局2名）の参加となりました。

1日目は帯広「ふじもり」で名物豚丼を堪能したのち、「ばんえい十勝」を見学しました。ちょうどリリース時間となり、大型ばんばの迫力ある走りに、がんばれー！と声援を送りました。次に「明治なるほどフアクトリー十勝」を見学しました。十勝工場は国内最大規模のチーズ工場であり、チーズの製造見学に加え模型やパネル・映像を使って、チーズの歴史や明治の安全安心なモノづくりについて学びました。最後にカマンベールチーズとナチュラルチーズの試食があり、どちらも大変美味しかったです。

2日目は畑作用農機具メーカー「東洋農機」を視察見学しました。工場ではひとつひとつ切り抜かれたパーツから大きな作業機や収穫機に組み立てられる様子を丁寧に説明いただきました。ビート資料館では館長より帯広製糖所やてん菜の歴史、製糖技術についてお話を伺いました。てん菜生産について心のこもったお話があり胸が熱くなった生産者部員もいました。

1泊研修では、バスの中や食事中も楽しい会話が弾み、久しぶりに会う部員とゆっくり交流することができました。令和7年度も引き続き活発な女性部活動をおこなって参ります。



東洋農機（株）

生産部会から

酪農部 農会

酪農家事例発表会



発表風景



集合写真

ふらの農協酪農部会青年部は、11月22日京王プラザホテル札幌で開催されたHokkaido Milk Summit 2024に参加しました。青年部から操上部長が優良酪農家として事例発表され、操上牧場の歩みや飼料作物の品種選抜による収穫量の安定化と品質向上、乳牛改良として長命連産や乳脂肪向上に係るゲノム選抜の実施が報告されました。質疑応答では、未来の展望について質問があり、乳脂肪率向上による生乳の差別化を図ることや耕畜連携を大切に、地域ぐるみで経営していきたいと話されていました。当部会から優良事例者が選ばれることはとても誇らしいことで、地域の底上げになるよう今後も活動していきたいと思えます。

総務部

農協法公布記念式の開催について

11月22日、JAふらの本所にて農協法公布記念式を開催いたしました。昨年度まではコロナ禍で縮小開催でありましたが、本年度は通常開催で役職員の約160名が出席いたしました。

冒頭、今日まで農業・農協の発展にご尽力された組合員及び役職員の物故者に対し黙祷をささげ、加茂専務からは農協法が制定されて77年を迎えて、合併から今日までの農業や農協環境の変化、食に関わることに従事する誇り等について挨拶を述べられました。

式中で永年勤続者表彰として、10年、20年、30年、35年、40年と長きに渡りJAに勤務された職員25名に対する表彰があり、表彰者を代表して35年勤続を迎えた森田真二北エリア長が謝辞を述べました。また、資格認定試験合格者の職員31名の表彰も行われました。

また、式終了後に農業者でもあり、富良野市元市長の高田忠尚様による「これからのふらの農業について」と題した講演が行われました。講演では、富良野の大地と広域農政について、明治からの富良野沿線の農業発展や地域農政の在り方など講義をいただきました。今後の富良野の農業発展に大いに期待するとエールをいただきました。



高田忠尚さまの講演の様子



記念式の様子

総務部

職員の集合研修会の実施について

11月26日、27日にJAふらの本所にて若年層職員を対象の集合研修として昨年に引き続き、第2回目の「コミュニケーション能力向上研修会」を日本経営協会の藤本講師を招き開催しました。本年は2日間で昨年の未受講者が計34名の職員が参加しました。本講習において「話す力」として人前で話す際に気をつける「3つのコツ」や情報整理の手法で「ロジカルシンキング（論理的思考）」の考え方を学び、参加した職員は熱心に講習を聞いてグループディスカッションも行いました。参加した職員からは「今後の業務に活かしていきたい」など前向きな感想が多く、研修を機に組合員対応などに発揮されることを期待したいと思えます。

新人職員の年末発表研修開催

12月6日、JAふらの本所にて今春採用となった新人職員9名が教育訓練計画に基づき「私の仕事の振り返り」をテーマにそれぞれが常勤役員や上司の管理職に向けて発表を行いました。新人職員が自らの業務内容の説明を行い失敗から学んだこと、今後の目標などを緊張した面持ちで発表いたしました。発表後は常勤役員、管理職から評価とアドバイスをいただき、新人職員も今後の業務に対する大きな励みになったと思います。また、来年度の内定者も発表に同席して真剣に新人職員の発表を聞き、「業務内容を具体的にイメージすることができた」等、働くことの具体的なイメージに繋がったようです。

この研修を機に新人職員がより一層、組合員の皆さまの負託に応えられる職員になることを期待したいと思います。



研修の様子

第13回 臨時総代会 開催



議長を務められた鈴木貴之総代



開会挨拶をする植崎組合長



採決状況

12月10日、J A からの本所大会議室において第13回臨時総代会を開催しました。総代450名に対し本人出席32名、代理出席1名、書面出席282名の合計315名（出席率70・0%）が出席され、議長には鈴木貴之総代（東山地区）が選任されました。

臨時総代会では、定款の一部変更（総代の定数削減）と定款（附属書）総代選挙規程の一部変更の2議案について審議され、それぞれ賛成多数で可決承認されました。

性学 女大

J A からの女性大学 からの産農産物を使った料理講座

11月15日、女性大学第13期生（2年生）の第8回目の講座として、富良野市ふれあいセンターにて、からの産の農産物を使用した料理講座をおこない、学生15名が参加しました。

この講座は、からの産農産物の美味しさを味わって頂くとともに、第2回講座「農業・施設視察」で見学した農産物を使用することによって、からの産農産物を身近に感じてもらう応援して頂くことを目的としています。

当日は、副学長およびJ A からの女性部役員の前多監事が講師を務め、昨年度のJ A 上女協・J A 上青協合同事業「J A 女性部・青年部が考えたご飯がすすむ農家めし」にてJ A からの提供した、「からの産もち米と野菜の入った肉団子」をはじめ、「鶏肉ときのこのトマト煮」「ポトフ」「にんじんパンケーキ」の4品を作りました。参加者は、交流を深めつつ講師にコツを教わりながら、手際よく料理を完成させていました。農家ならではのアイデアが詰まった料理に、参加者からは「おいしい」「今度家でも作りたい」など楽しい声があがっていました。



購買部

世界最先端!!
「レーザーウイダー座談会」開催

12月5日、JAふらのの購買部は本所会議室にて「レーザーウイダー座談会」を開催し、組合員20名を含む農業関係者45名が参加して世界最先端スマート農業機械について意見交換を行いました。

「レーザーウイダー」は米国のベンチャー企業カーボンロボティクス社が開発した除草機で、AI搭載のカメラで作物と雑草を見分け、雑草の生長点に正確なレーザー光線を照射して除草します。2022年以降、米国を中心に世界中で約100台が販売されています。昨年のJAふらの海外役員視察研修において担当者から説明を受けたことを契機に情報交換を続けた中で、今回日本での販売に向けた除草機の仕様確定のため、生産者と直接意見交換がしたいとのカーボン社からの要請を受けて開催しました。

座談会ではカーボン社が現在検討している日本向け除草機の仕様説明の後、実際に北海道で活用するための課題について、管理体系の実態に合わせた機体と車輪幅・タイヤ幅の調整や、故障時のサポート体制、価格設定などについて踏み込んだ意見交換が行われました。

カーボン社では今回の意見を参考に、2025年3月の再来日を目標に日本向け除草機の開発を進める予定です。



作物毎の管理方法について意見交換



座談会の様子

営農部

栽培管理システム「xarvio® FIELD MANAGER」説明会の開催について



xarvio® FIELD MANAGERパンフレット

12月13日、栽培管理システム「xarvio® FIELD MANAGER」(以下、ザルビオ)の説明会を開催し、生産者19名と購買部、生産振興室、営農課の職員13名が参加しました。

初めに、ザルビオの開発元であるBASFジャパン株式会社より、サービスの主な機能である「地力生育マップ、病害・生育予測機能、可変施肥マップ」についての説明と、北海道の各地で調査された秋小麦の赤さび病・てん菜の褐斑病における病害発生予測の精度、実圃場と比較した生育マップの精度について紹介されました。

その後、ホクレン農業協同組合連合会旭川支所生産資材課より、本年度、当JAでも実施したモニター試験に関する概要報告として、全道の生産者から回答された各機能の評価等の調査結果について説明されました。

参加された生産者の中には、ザルビオの活用を検討されている生産者が多く見受けられ、説明会を通じて不明点の解消や活用方法について更に理解を深める機会となりました。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第6回「東野ひでき北海道後援会の活動経過」について

過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

北海道後援会では、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、各連合会・関係機関など東野ひでき氏の応援の輪を広げていくために、農政学習会等を通じて「なかまづくり運動」を展開してきました。

「ひできのなかまづくり運動」

「ひ」…ひとりでも多く! 「で」…できることから! 「き」…きょうから始めよう!

各々が、応援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、その「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。

令和6年3月29日に東野ひでき北海道後援会を設立して以降、主に以下の取り組みを実施しております。

- JA総会・総代会にて東野の動画映写や組織結集に向けた決議等を実施。
- JA・連合会にて推薦手続きを完了。
- 道連常勤役員・地区会長他によるJA等巡回。
- 東野による全国連・全国機関、都府県連合会・JA等巡回を実施。
- 東野による道内各連合会、関係機関、取引先、JA等巡回(励ます会)を実施。
- 農政学習会の実施。
- 各種資材の活用。
(農政学習教材(資料・動画)、東野ひでき紹介動画、室内掲示用ポスター、リーフレット、運動推進ステッカー、名刺貼付用シールなど)
- JA広報誌での連載と北海道農政ジャーナルの発行。
- SNS(HP、LINE、Instagram、YouTube、Facebook)による活動報告。
- 青年部・女性部による東野ひでき親衛隊「動画大作戦」の実施。(毎月1回YouTube配信)



今後は、上記の取り組みに加え、屋外用政治活動用ポスターの掲示(野立て看板の設置)、東野出席のもと道内12地区の巡回等や、青年・女性組織の道・地区・単組段階での推薦手続き等を実施していきます。

農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

農政学習運動等を通じて組織選挙の意義を共有し、引き続き「なかまづくり運動」を広げていきましょう!

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(第7回)は、「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について報告します。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会

【富良野税務署からのお知らせ】

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、マイナンバーカードを利用して、マイナポータル連携をすると、医療費やふるさと納税等の申告に必要な各種控除証明書等のデータを一括取得し、確定申告書の該当項目に自動入力することができます。

なお、マイナポータル連携を利用するためには事前準備が必要です。

各種控除証明書等の発行主体によっては、データが取得可能となるまでに数日を要する場合がありますので、お早めの準備をお願いします。

詳しくはこちら→



New

職員紹介

令和6年度新採用の職員一人一人にスポットをあててご紹介します！お見かけの際は、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。QRコードでは自己紹介やお気に入りの音楽など紹介しています。

名前：時田 悠平

出身地：札幌市 出身校：酪農学園大学

学生時代の部活や習い事：

野球、スケート

趣味：

野球観戦、ワイン、温泉

好きな農産物：

玉葱：オニオンスープ、ジンギスカン等

5年後に達成したい目標：

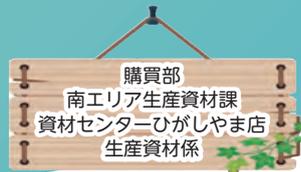
（仕事編）達成感のある仕事をし、熱意を失わずに仕事をしていきたいです。

（プライベート編）生活習慣（早寝早起き）の安定による、全道No.1の健康体ゲット！

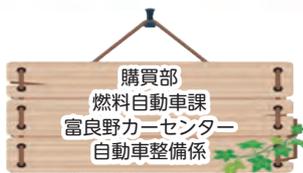
上司から

窓口業務においては、社会人経験者の強みを生かし、積極的に爽やかな組合員対話に心掛けてほしいと感じます。

又、多くの購買品や業務手順を吸収するうえで、分からないことは優しい先輩へ遠慮なく聞きながら、JA職員としての知識向上の加速に期待しています。



在庫管理の様子



点検修理の様子

名前：千葉 昌平

出身地：上富良野町

出身校：上富良野高校

趣味・特技：

熱帯魚、旧車いじり、ギター、音楽

これを行っている時が幸せ～：

音楽を聴きながら車いじり。

ギターのクリーントーンが出たとき。

好きな農産物：

マルっと一個タマネギのアルミホイール焼バター鰹節醤油エディション。

5年後に達成したい目標：

（仕事編）整備はさることながら、車販など出来る事の幅を広げていきたい。職員資格試験は5年後上級うかつている。

（プライベート編）今自宅で手掛けている車を完成させる。

上司から

整備業界が人手不足の中カーセンターに来てくれた千葉さん、経験者ということもあり即戦力として期待しています。おっちょこちょいなところもありますが、それも千葉さんの魅力として組合員さんのために少しずつ職場に慣れてほしいです。

（組合員の皆さんへ）

これからも自動車のことならなんでもお声がけください。

QRコード：自己紹介



組合員からの情報提供窓口を設置しています。

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法（第35条の5）及び農協法施行規則（第81条）に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報（組合経営に関する事象に限る）の提供を求めています。

当組合の理事の組合経営に関する気になる行為について、見たり聞いたりした事柄があれば電話または封書・電子メールにて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

ふらの農業協同組合 監事会

- 連絡先：電話番号 080-8289-8443
- ファックス 0167-22-1323
- メールアドレス kansa@ja-furano.or.jp
- 受付部署名 監事室 常勤監事 荒川 聡 宛
- 住 所 富良野市朝日町3番1号 JAふらの本所事務所1階

- ※ 当組合の業務に関する一般的な苦情については、別途窓口を設置しておりますので、そちらをご利用ください。
- ※ ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

JAへの就職希望者100%就職（令和5年度実績）

令和7年度 第3回学生募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年●寮完備（個室）●通学制開始
- 受験資格：満27歳未満（令和6年4月1日現在）/大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：令和7年2月2日（日）●願書受付：令和7年1月6日（月）～1月24日（金）消印有効
- オープンキャンパス随時開催中求

JAグループ職員養成校

令和7年度より
通学制開始

JAカレッジ

一般財団法人 北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417

【JAカレッジ】で 



冷え込んだ外気温と、堆肥の発酵熱が対照的でした。

11月19日、修了生合同研修も兼ね、JAふらの有機物供給センター、シレラ富良野工場とオサダ農機さんへの視察研修に行きました。14日にはタマネギ選別施設の視察も実施しました。施設があることは知っているけど、今まで見学したことがなかった、という学生が多かったです。

農事視察研修

教育活動紹介

AGRI

育て農の担い手!

富良野緑峰高等学校
農業特別専攻科

毎年、希望者を対象に埼玉県の農家に泊まり込みで研修を行っております。今年も2名の学生が希望しました。都市近郊型の農業、1年を通して栽培

道外農事研修 (埼玉研修)



最新のタマネギ選別施設は圧巻です。



農機の生産現場は意外と見学機会がありません。

入試情報や活動内容はホームページやfacebookでも確認できます



facebook



ホームページ



ができる地域での働き方、寝食を共にして初めてわかる生活習慣や伝統など、様々な違いを肌で感じることができました。

令和7年度 富良野市内新設高等学校 農業特別専攻科 学生募集

自家の農業に従事しながら、専門的知識・技術を学びたい方なら年齢や性別に関係なく出願できます。修業年限は2年です。

- 出願資格 高等学校またはこれに準じる学校を卒業した者（令和7年3月末日までに卒業見込みの者を含む。）または本校校長が高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められた者
 - 募集人員 20名
 - 出願期間 <1次>令和7年1月9日(木)午前9時から1月17日(金)正午まで（土日、祝日を除く）
<2次>令和7年2月12日(水)午前9時から3月14日(金)正午まで（土日、祝日、3月1日～3月6日を除く）
 - 検査日 <1次>令和7年1月31日(金)午前10時
<2次>令和7年3月25日(火)午前9時
 - 検査会場 北海道富良野市内新設高等学校（現富良野緑峰高校）
 - 検査内容 作文および面接
- * 願書等は直接、農業特別専攻科へ請求してください。
TEL・FAX 0167-22-2594



第3章

小麦

～聖書の時代からの最古の穀物～

欧州ではパンの原料として、重要穀物の地位を占める小麦ですが、その欧州でも中世の頃までは小麦は庶民の口になかなか入らない高級品でした。庶民は安価な大麦やライ麦、えん麦等の堅いパンを常食して、小麦で作られた柔らかなパンは主に貴族の食べ物でした。第1章で出てきた『パンが無いなら…』というのも、こうした貧富の差を背景にして出てきた言葉だったんですね。

アジアへの伝播は、西遊記でおなじみのシルクロードを通じて、紀元前1世紀頃には前漢に伝えられたと言われています。日本もほぼ同時期に伝わったと考えられており、なんと！弥生時代の遺跡からも種子が出土しています。記紀の時代にはもう五穀に位置づけら

れていたのは第1章で出た通りです。

また、麦を発芽させた麦芽を使って水あめを作ることが出来ませんが、日本では江戸時代に入るまでお砂糖に代わる重要な甘味料でした。ちよつと素朴な、強く主張しないほのかな甘みは、今でも多くの和菓子で使われています。



現在、世界的に小麦の産地と言われるのは、米国・豪州・カナダといった国々ですが、こうした国々へは大航海時代に欧州人が持ち込んだのが始まりで、その後の生産面積の拡大や生産技術の向上に伴い、18世紀には庶民の口にも入るようになりました。

P N 《へそのゴマフアザラシ》

第11回

理事会報告

令和6年11月22日、本所役員会議室で第11回理事会が開催され、次の事項について報告、協議、承認されました。

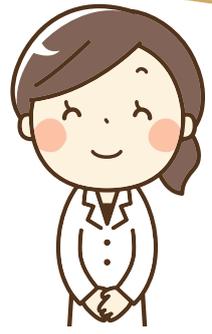
■ 報告事項 ■

1. 事業及び一般概況について
2. 組合員からの情報提供窓口設置に係る広報誌掲載について
3. 令和6年度 第3四半期監事監査結果報告について
4. 内部監査実施結果報告について
5. 不祥事再発防止策の進捗報告について
6. 組合員加入・脱退・資格変更・持分譲渡について
7. 農地保有合理化事業の取り組みについて
8. 理事に対する利益相反取引の事後報告について
9. 余裕金運用状況報告について
10. 金融部門における中期経営計画案の変更について
11. 与信先のその後の経過と今後の方向性について
12. 青果物販売状況報告について
13. 畜産取扱状況報告について
14. 農業機械・自動車整備工賃の料金改定について
15. 農業機械課営業日の変更について
16. 肥料及び温床資材取扱要領の一部改定について
17. 令和6年度 麦類生産実績報告について
18. 令和7年度 一般農作業請負料金の改定について
19. 令和6年度 第3四半期コンプライアンス事故報告について

□ 協議事項 □

1. 出資金の減額について
2. 第13回臨時総代会開催日時と提出議案について
⇒ 総代の定数削減について議案上程することが決定されました。
3. 臨時総代会議決権行使書面について
4. 総代選挙の実施について
5. 購買部 農業機械 計画外固定資産取得（土地）について
⇒ 中富良野機械センター隣接地の取得について協議され決定されました。
6. 信用事業方法書〔3〕（為替取引）の一部改正について
7. 融資案件について
8. 融資案件 条件変更について
9. J Aふらのの生乳生産対策支援にかかる交付対象基準について
10. 令和7年度 米穀の共同計算運営の基本事項について
11. 令和6年度 種子馬鈴しょ概算払い単価について
12. 令和7年度 野菜苗供給単価について
⇒ 単価の値上げについて協議のうえ決定されました。
13. 令和6年度 玉ねぎ概算払い単価について
14. 第3四半期業務検討について
15. 年末手当の支給について

健康メモ



「動物の持つ癒しのちから」

旭川厚生病院 がん相談支援センター

がん看護専門看護師

山田 琴 絵

旭川厚生病院では、「ハートシエア」というがん患者さんとそのご家族が集まり、日々の想いや生活の工夫について語りあう会を開催しています。この会が生まれたきっかけは、患者さんやご家族からの『つらい想いを気兼ねなく話したい』『気持ちが変わりあえる人と話したい』『他の人はどのように過ごしているのか、日常生活のヒントやアドバイスを得たい』といった声でした。

今年度は、「リンパ浮腫のケア」「アロマセラピーの効用」「抗がん剤治療中の食事」「肝硬変」というテーマをもとに、全4回開催しました。医療職者がミニレクチャーを行った後、参加者で自由に語り合う時間を設け、あっとい

う間に90分という時間は過ぎていきま

す。来年度、どのような企画でがん患者さんとそのご家族に有効かつ、ほっとできる時間”の提供ができるだろうか…と、ハートシエアに関わるスタッフは考えはじめています。



がお世話になっている歯科衛生士さんの愛犬がセラピードッグであること、歯科衛生士さんとセラピードッグは2人3脚ならぬ2人5脚で、他院や施設等を訪問するボランティア活動をしていると耳にしました。セラピードッグは、定期的な訓練を怠らず、健康チェック・清潔保持にも余念がないと聞き、プロフェッショナルだと思いました。

ところで、日本にはたくさん働く犬が活躍しているのをご存知でしょうか。先ほどお話ししたセラピードッグの他、盲導犬や聴導犬・介助犬などの身体障害者補助犬、被災地で行方不明になっている人を優れた嗅覚で捜索する災害救助犬、行方不明者や犯人の足取



りをつかんだり捜査員と共に犯人確保を行う警察犬、国際空港・海港および国際郵便物を扱う郵便局で活動する動物植物検疫探知犬などが活躍しています。加えて、病院で活動するために専門的に育成された犬、ファシリテイドッグも働



く犬です。彼らは、ハンドラーと呼ばれる、犬をあつかう研修を受けた臨床経験のある医療従事者とともに、入院患者の治療や療養生活に関わります。現在、日本国内でファシリテッドッグを導入する病院はわずか4カ所であり、残念ながら北海道内の病院では導入されていません。私は、もう少し若いうちにファシリテッドッグの存在を知っていたならば、ファシリテッドッグのハンドラーを目指したかったと常々思っています。余

談です。

ここまでくると、私が犬好きであることは、すでに明らかだと思います。私は、犬を筆頭に、猫も好きですし、鳥も好きです。祖母や伯父が酪農家だったので、小さな頃から身近だった牛も好きです。つい最近知った驚きは、「セラピーカウ」という癒しの牛がいることです。私は、祖母の家に遊びに行くとき牛舎に直行し、牛を撫でながら彼らに話しかけていました。それは、牛たちから何かしらの癒しをもらっていたからに違いないと思うのです。

本題に戻ります。動物の持つ癒しのちからについては、国内外で様々な研究がされており、動物が介在することで、ストレスの緩和や情緒の安定、血圧の安定や自発的な意欲の向上、離床率の向上への効果を認めたという報告があります。

当の本人たち（動物たち）は、自分の持つちからに気がついていくのでしょうか。たぶん、そんなことは気にもしておらず、ただ

「今」に集中して生きているところが、格好良くもあり、見習いたい生き方だと思うのです。

人は、過去を悔やんだり、まだ知りもしない未来を憂いたり、誰かと自分を比べて一人で苦しくなったり、答えのない悩みのループに迷い込んだりと、気が休まらない日々を送ることもあります。

「ハートシェア」に参加したいと希望される方々も、がんという病いと共に日常生活を送り、『誰かに話したところで、分かってもらえるかどうか…』と悶々とする日々を過ごしているかもしれない。そのような方々に、ほっと一息ついてもらう「ハートシェア」の時間を企画したい、セラピードッグと戯れながら語らい、癒しの時間を過ごしてもらおうのはどうだろうか、そんなことを今、考えています。



平成29年集大成として発行されたレシピ集より抜粋、連載させていただきます。

農家ならではの工夫料理 逸品レシピ紹介

JA南富良野支所女性部の事業「漬物・特産物料理コンクール」で表彰されたレシピをご紹介します！

第43回(平成26年)
鈴木 孝子さん(下金山)

牛乳と野菜の杏仁豆腐

材料

A	牛乳	2カップ
	棒寒天	1本
	砂糖	200g
	バニラエッセンス	3~4滴
B	コーン(ゆめのコーン)	100g
	棒寒天	1/2本
	砂糖	50g
	バニラエッセンス	1~2滴
	かぼちゃ(雪化粧)	100g
C	棒寒天	1/2本
	砂糖	50g
	バニラエッセンス	1~2滴
	ほうれん草	70g
D	棒寒天	1/2本
	砂糖	50g
	バニラエッセンス	1~2滴

シロップ
みかん缶詰の汁.....2缶
水と缶詰の汁を合わせて.....1.5L
砂糖.....150g

作り方

- ※棒寒天1/2本に対して、水1カップで煮溶かす。
- 棒寒天は、それぞれ(A、B、C、D)の分量を多めの水で40分ほど煮かす。
- スイートコーン、かぼちゃ、ほうれん草は別々に適当な大きさに切り、水1カップを加えてジューサーに入れて、ドロドロ状態にする。
- 1の棒寒天はそれぞれ別の鍋で煮溶かし、2を加えさらに砂糖も加えて加熱する。(軽く煮立つ程度)
- 3を冷まし、人肌になったら、バニラエッセンスを加えて、容器に入れ固める。
- シロップを作る。一度煮立ててから冷ます。
- 牛乳カン、野菜カンはそれぞれ好みの形に切り、シロップを加える。

☆できるだけ野菜の風味を残すこと。
 ☆牛乳カンは、それだけをいただいてもおいしく食べられる。

**クリスマスプレゼント付き
読者アンケート
抽選結果発表**



アンケートにご協力頂きましてありがとうございます。
 抽選の結果、以下の6名の方が当選いたしました。

- | | | | |
|------|-------|------|---------|
| 上富良野 | T・A 様 | 上富良野 | 本田 祥子 様 |
| 中富良野 | F・A 様 | 富良野 | 武田 涼 様 |
| 富良野 | K・N 様 | 南富良野 | 森 美幸 様 |

おめでとうございます！

当選者の方へ、JAふらの加工品セットをお贈りいたしました。

大勢の皆様からたくさんのご意見、ご感想をいただきました。
 皆様からの声を励みに、より良い広報誌を目指しますので、引き続きよろしくお願ひします。

編集後記

皆さん、あけましておめでとうございます！
 旧年中は当広報誌「ふらのの大地」へのご支援・ご協力をいただき本当にありがとうございました。年が変わって巳年になりましたが、よろっと末永く皆さんに愛される誌面作りに努めたいと思います！
 『巳=蛇』ということで、その見た目からなんとなく苦手な方も多いと思われる生き物ですが、古来より再生や繁栄のシンボルとして、世界中で神格化されてきた生き物でもあります。日本でも『白蛇=金運アップ・商売繁盛』なんて言われて神社に祀られていたりもします。ふらの農業もそんな景気のいい話に溢れる一年であることを祈念しております(『いや、職員のお前が頑張れ』という叱咤激励が聞こえる…) ㊦

ふらの農業協同組合

本所	富良野市朝日町3番1号	TEL. 0167-23-3532	FAX. 0167-22-3232
上富良野事務所	空知郡上富良野町米町2丁目2番45号	TEL. 0167-45-3131	FAX. 0167-45-4519
中富良野事務所	空知郡中富良野町南町4番31号	TEL. 0167-44-2211	FAX. 0167-44-3143
富良野事務所	富良野市朝日町3番1号	TEL. 0167-23-1819	FAX. 0167-23-6119
山部事務所	富良野市山部東町8番3号	TEL. 0167-42-2211	FAX. 0167-42-2488
南富良野事務所	空知郡南富良野町字幾寅979	TEL. 0167-52-2005	FAX. 0167-52-3113



●皆様からの記事へのご意見・ご要望・情報がありましたら電話・FAX等などお気軽にご連絡ください●